

contents

性教育は手段。目的は？……………	1	「ありのままのわたしを生きる」ために②……………	9
性教育の歴史を尋ねる②……………	7	今月のブックガイド……………	10
北丸雄二のニューヨークレポート②……………	8	JASEインフォメーション……………	11

性教育は手段。目的は？

公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長 岩室 紳也
厚木市立病院泌尿器科医師

思春期の性教育の課題

◆手段と目的の混乱

毎年中学3年生に性教育をさせてもらっている学校から、ぜひ中学2年生を対象に、中学3年生の前段階の学習内容で性教育をお願いしますと頼まれました。しかし、岩室紳也の性教育は小学生が対象でも、中学生が対象でも、高校生が対象でも内容は科学的な観点で同じです。もちろん全く同じではありませんし、同じ学年でも生徒さんの反応、理解度、男女構成によって内容を工夫することは当然です。では、なぜ学校の先生と私で性教育についての視点の相違が出てしまったのでしょうか。

学校の先生たちは教育学部で発達段階に応じた教育の必要性を刷り込まれています。当たり前のことですが、国語という教科一つをとっても小学生、中学生、高校生では教科書の中身も、教え方も変わってきます。字も読めない子どもに源氏物語を見せて

も意味がありません。医者である私が問いかけるのも変ですが、そもそも「国語教育」の目的は何でしょうか。

小学生にとっては何よりも日本人として必要最小限の文字を読み書きでき、文字を通して様々な情報を入手したり、他者とのコミュニケーションを通して自分自身を成長させたり、他者の役に立ったりできるようになることです。そのために「ひらがな」の読み書き、「カタカナ」の読み書き、「漢字」の読み書きを段階的に学習していきます。このようなことをあえて書かせていただいているのは、国語という授業の目的は、狭い視点では読み書きができるようになることですが、もう少し目的を広い視点で考えると、言葉の読み書きだけではなく、会話を含めた様々なコミュニケーションの手段を獲得することを通して生きる力を育むことです。

小学生のときから国語が得意で、中学生になった時点で広辞苑にある漢字がすべて読み書きできても、他者とのコミュニケーションがとれないようにで

は、人として生きていく上で多くの困難を抱えてしまいます。

では性教育の目的は何でしょうか。実はこれまで性教育の原稿を頼まれると、「岩室紳也はこのような内容を話しています」とか、「最近の若者たちはこのような課題を抱えています。それを克服できるようにこのような内容を伝えてください」と書いていました。しかし、思春期の若者たちが真剣に聞いてくれる内容を振り返ってみると、性教育の目的は「性の正しい情報を伝えること」ではなく、「岩室紳也の性の話を通して、若者たちが自分のことを考え、生きる力を育めるようになること」だと気づかされました。

◆「発達段階に応じた性教育」という誤解

当たり前のことですが、小学校1年生には古文を教えません。それは理解できないばかりか、そもそも小学校1年生で行う国語の授業の当面の、狭義の目的はひらがなから少しの漢字を覚えることを通して、読み書きや会話をするものの楽しさや喜びを感じてもらうことです。仮に授業が面白くなく、小学校1年生の時点で「国語はつまらない。勉強したくない」という子に育ったら、それこそ生きる力が育たなくなります。

その意味でも、どの教科であっても大事なことは、興味をもち続け、一歩ずつ自分自身の習熟度を高めていくことです。国語を教える先生に求められていることは国語嫌いにならない、国語の授業を通して、国語力を高め、気がつけば読み書きや会話を通してコミュニケーションをはかったり、読書で感動したりといった生きる力を育むことです。

性教育も同じではないでしょうか。コンドームの達人と呼ばれて久しいのですが、この私でさえも小学校低学年にコンドームを教えることはしません。それはその年代の子たちに古文を教えない理由と同じです。性教育の目的は、「性」についての学習を積み重ねることを通して、性を学ぶ必要性や面白さを体感し、性の問題を仲間同士で解決できるといった生きる力を育むことです。

生きる力が育っていないわかりやすい例が、コンドームなしでセックスをし、HIVに感染したにもかかわらず、そのことを検査もせず、妊娠しても産婦

人科で妊婦健診を受けずに出産のトラブルでお母さんは亡くなる。何とか生まれてきた子どもはHIVに母子感染していた。このような事例を紹介すると、子どもたちは「コンドームやエイズのことを知っておくことが大事なんだ」と感じてちゃんと学習してくれます。しかし、同じ事例を聞いた大人たちは「セックスをする前にコンドームを教えなければ」と躍起になる人がいる一方で、「こんなケースは稀で、多くの子どもたちは大丈夫」と思っていないのでしょうか。

◆生きる力を育む性教育とは

ある大学で話した時の感想です。

「自分は性的な話を聞くととても気持ち悪くなるのですが、今回はそういったこともなく、とても聞きやすかったです」

「私は性教育が怖くて、大嫌いで、聞いてもすぐに忘れようとしていました。今回のお話を聞いて、ただ欲のためにする性行為だと思っていましたが、つながりたい気持ちや人の寂しさのためにすることもあると知りました。経験した人のパーセントを見て驚きましたが、自分がきれいなほうがよいという価値観があってもよいということも理解できました。いろいろな言葉が心に残ったので、忘れずに、人とつながりをもっていきたいと思います」

「自分で考え、自分で決めて、自分で行動する。相手や流れに任せるのではなく、人との関わりを大切にしながら生きていくことが必要だと思いました。今まで少し敬遠気味だった『性』に対する問題も、『まあいいか』とあいまいにするのではなく、しっかりと向き合っていこうと思います」

性教育を行っている側の一方的な思いの押し付けだと嫌悪感が生まれたり、自分の問題として考えられなかったりします。性と関わることを通して、人として成長し、生きる力を育むうえで役に立つ性教育でなければ、性教育を行う意味はありません。そのためには、何より科学的で、自分の問題として考えられ、結果として生きる力が育まれる性教育が求められています。

本稿では若者たちが真剣に聞き、自分の問題として考えてくれる、岩室紳也が行っている科学的性教育の一端を紹介します。

科学的性教育のすすめ

◆おちんちんを科学する

泌尿器科医として最近の子どもたちを診ていて非常に気になるのが「おちんちん」です。昔の若者たちの最大の悩みであった包茎という言葉を知らない若者たちが増えています。性教育の際に「おちんちん」、「陰茎」、「ペニス」のどの呼称が適当かを議論していたのは、はるか過去のことになりました。

では、そもそもおちんちんの性教育で子どもたちがどう変わるのでしょうか。どのような目的をもっておちんちんに関する性教育を行うべきなのでしょう。こう聞くと知識や意識の差はあれ、多くの人は次のような問題意識をもたれると思います。

- 1 おちんちんのサイズでの悩み解消
- 2 包茎の悩み解消
- 3 不要な包茎の手術を受けない
- 4 亀頭包皮の予防

なかには誤解をしていて、

- 1 包茎の解消
- 2 早漏の防止
- 3 おちんちんの発育の促進

と考えている人もいますでしょう。ここであえて「おちんちんを科学する」と言っているのは、おちんちんに関する問題を、悩みを予防したり、解消したりするだけではなく、そもそもおちんちんとともに生き、成長することとはどのような意味をもつのかを、性教育に関わる方々に考えていただきたいのです。

◆男の子の性教育は男に任せるな

女の子の性教育は女性が、男の子の性教育は男性がすべきというのは非科学的な発想です。昔からこのように思っていた人が多いのは、性が科学的に理解されるのではなく、経験的に理解され、対処された歴史が長く続いたからです。おちんちんのことで言うと、昔は銭湯に行けば隣のオヤジが「チンポこむいてきれいに洗え」と教えてくれたり、「お前は包茎だ！」と仲間からかわれたりしながら、おちんちんはむいて洗うものだとことを学びました。さらにみんなで風呂に入るのが当たり前だと仲

間のおちんちんを実際に見て、「何だ、みんな普段は包茎なんだ」とか、「でっかい奴もいるけど小さい奴もいる」ことを知って安心することができました。すなわち、おちんちんを知り、理解し、お互いの違いを自ずと受け入れる環境がありました。

では、いつからこのような環境が壊れたのでしょうか。57歳の岩室紳也は既に銭湯ではなく、自宅に風呂があった世代です。ただ、私自身は中学の途中から大学まで寮生活をしていたため、他者のおちんちんを嫌というほど見せつけられました。しかし、寮生活を送らなかった私の同世代が「彼女は包茎がきらいだ。包茎の3悪追放。包茎切って男になろう」と聞けば、なかには、不要かつ高額な包茎手術を受けたことでしょう。実際、この世代の父親はよく「私も若い時に包茎の手術をしたので、息子にも早めに手術をしてください」と何の迷いもなく泌尿器科を受診します。もちろん私の外来ではきちんと説明をし、手術不要と伝えますが、上手く言わないと父親のほうが「オレは無駄な手術を受けたのか」と悩むことになります。

◆最近のおちんちんのトラブルの背景

- ・30歳になってもおちんちんをむいたことがない。(不潔)
- ・「包茎」という言葉を知らない男子高校生。(無知)
- ・「僕はカントン包茎です」と勝手に診断して相談してくる大学生。(誤解)

近年増えてきた、おちんちんに関する問題です。

そもそもどうして30歳になってもおちんちんをむいたことがないのか。高校生になっても「包茎」という言葉を知らない理由は何か。「カントン包茎」という言葉をどこで知り、医者に相談する前に仲間にもその意味を確認したのか。そのような疑問がわきませんか。近年表出してきたのが、本来であれば思春期に仲間同士で話題にし、からかい合い、でも結果的に解決していたことが、仲間がいない、あるいは仲間であっても性の話題を避けるために、困った事態になっている人が着実に増えていることです。

おちんちんに限らず、思春期に遭遇する性の悩みやストレスを自らの力で乗り越えることで人は生きる力を育みます。逆に、悩みを解消するだけの、正確な情報を与えるだけのストレス回避教育は、せつ

かくの性を通して生きる力を育むチャンスを奪っていると考えなければならない時代になりました。

◆おちんちんを知ろう

かぶれば包茎、むければOK。むいて、洗って、また戻す。

包茎のメッセージはこの一行に集約されていますが、もう少し詳しく伝えないと何を言われているかわからないという人も少なくないでしょう。

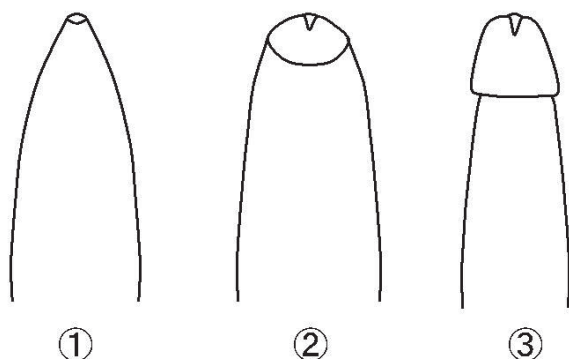


図1 いろんなかたちのおちんちん

図1をまわりの何人かの男性に示して、「皮をかぶったおちんちんから、むけた状態のおちんちんまでいろいろですが、それぞれは何と呼ぶでしょうか？」と聞いてみてください。間違いなく十人十色の答えになります。

で、正解は？（答えは文末に）

おちんちんの状態を解剖学的に説明します。図1-①の断面図が図2です。ほとんどの男の赤ちゃんは生まれたときは図1-①の状態です。断面図で見るといかにも包皮口が非常に狭く、亀頭部が出そうにもないと思うでしょうが、生まれたときから包皮を根元のほうにずらすと亀頭部がほとんど全部出てしまうという新生児もいます。また、体の成長とともにおちんちんも大きくなって、亀頭部が常に完全に露出した状態（図1-③）になる人もいます。

◆むくべきか、むかざるべきか

おちんちんは普段、包皮をかぶってしようと、完全にむけてしようと、どのような状態であっても問題はありません。しかし、包皮内に細菌が入り繁殖すると亀頭包皮炎になります。昔から「ミミズにションベンをかけるとちんちんが腫れる」と言い伝え

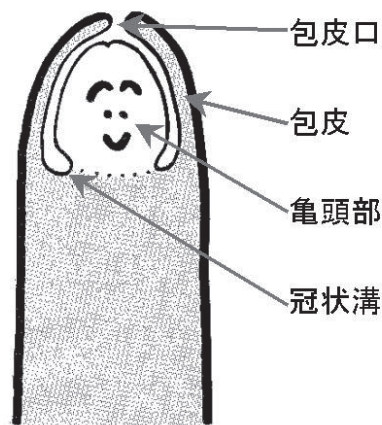


図2 おちんちんの断面図

られてきたことは実はたいへん科学的なことでした。

そもそもミミズにションベン（小便）をかけて遊ぶのは小さい男の子です。低年齢の男の子は包茎のことが多く、包茎のままミミズをめがけて排尿しても包皮が邪魔をし、尿線が定まらずミミズに命中しません。そこで方向修正をしようと汚い手でおちんちんの先の包皮口あたりをいじっていると包皮内に細菌が入ります。もちろん、入浴時に包皮を冠状溝までむいて洗っていれば炎症を起こすことはありませんが、洗うことを怠ればおちんちんが腫れても不思議ではありません。

◆包茎はいつむくか、今でしょ！

では、いつ、何歳からむくべきなのでしょうか。

なぜむくのかを考えれば答えは自ずと見えてきます。おちんちんをむくことが目的ではありません。おちんちんをむかないとおちんちんの中の清潔が保てません。もちろんおちんちんを腫らしても子どもが死ぬわけではないので放っておいてもいいと考える人もいるかもしれません。問題なのは「自分も自然とむけるようになった」とか、「いずれ友だちとそういう話になってむけるようになるから放っておけ」といった、自らの経験だけで判断し、現代社会の課題である関係性の喪失やコミュニケーション能力の低下がもたらす仲間の減少、情報共有の減少、そして30歳になってもむいたことがない人の出現を理解していない人たちです。

だからこそ、私は子どもたち、若者たちに話す機会があればかならず「むいて、洗って、また戻す」を伝えるようにしています。

包茎はいつむくか、今でしょ！

◆^{かんとうん}嵌頓包茎に注意

ただし、「むきましよう」と呼びかけるときは、嵌頓包茎の注意だけは忘れないでください。包皮口が十分広がっていないときに無理やりむいてしまうと、包皮口が亀頭部を締め付ける形になり、包皮がむくんだ嵌頓包茎の状態になります（図3）。この状態になっても慌てることはありません。まず、亀頭部を30秒間思いっきり握りつぶします。亀頭部には骨がないのでどんなに強く潰しても、そこにある血液が体のほうに戻るだけです。亀頭部が十分小さくなったら亀頭部を包皮口の中に戻すように押し込みます。このとき初めて亀頭部が出たお子さんは痛がりますが、そこは我慢して戻すようにしましょう。

◆むけまして、おめでとうございます

包皮を翻転し、亀頭部が冠状溝まで完全に見えるようにできればむけたことになります。包皮口が狭ければむけません、毎日、根元に向かってむき続ければ、それも数多くやり続ければ必ず包皮口は拡大します。

包皮口が広がり、亀頭部を少しずつ露出できるようになると、最初は亀頭部を触ただけで痛みを感じます。しかし、触り続け、洗い続けているうちにこの痛みは必ずなくなります。痛みがなくなれば将来的にセックスなどできるはずがありません。ちなみに、完全に冠状溝が露出できるようになるまでは洗う際に石けん等は使わないようにします。癒着の隙間に石けんが入り込んで炎症を起こすことがあるからです。

包皮と亀頭部が癒着している場合はその癒着をはがす必要がありますが、これはちょっと痛いので少しずつ、1週間に1ミリ程度を目安にしてください。

今から始めれば、半年程度でほとんどのお子さんはむけるようになります。学校では「むけたら担任の先生にちゃんと報告してくださいね」とお願いしています。

「えっ、どうやって？」

簡単です。年賀状に「むけまして、おめでとうございます」と書けばいいのです。



図3 ^{かんとうん}嵌頓包茎

◆むかない代償

包茎をむかないままにしておくと亀頭包皮炎を起こすだけではなく、最悪の場合、陰茎がんになる人がいます。陰茎がんになる人はほぼ全員包皮を翻転できない、すなわちむけない、いわゆる真性包茎の人たちだというのは泌尿器科医の常識です。その原因の一つがHPV。

HPVは子宮頸がんの原因ですが、そもそも子宮頸がんを起こすHPVはどこから来るのでしょうか。多くはおちんちんに付着したHPVが子宮頸部に運ばれています。男性が「むいて、洗って、また戻す」をし続けることで陰茎がんが予防できるのであれば、男性のパートナーが「むいて、洗って、また戻す」をし続けることで女性の子宮頸がんのリスクも減らせると思いませんか。もちろんevidence（証拠）はありません。なぜなら洗わないおちんちんとセックスをした女性の群と、洗ったおちんちんとセックスした女性の群を比較するというのは、あまりにも非人道的な研究になるからです。

性は悩み、考え、つながる手段

◆科学的性教育のすすめ

今回、あえておちんちんを題材に紹介したのは理由があります。おちんちんは、それこそ小学校低学年で「からだのせいけつ」を教えるときから扱える題材です。もし担任の先生が授業の中で「おちんちん」という言葉を口にした途端、茶化したり騒いだりする子どもがいたら、「おちんちんのことをちゃ

んと勉強しておかないと、おちんちんのがんで死んでしまうこともあるんだよ」と叱れるからです。このように、性はいろんな角度から「命」に結びついていることを科学的にとらえ、伝えたいものです。

と同時に、私の性教育のなかでおちんちんを語る時間はせいぜい5分程度です。しかし、その5分を語る背景に、おちんちんや包茎への深い理解と意思があるからこそ、生きた思いが伝わる性教育になります。

◆自分で考え、思いやりの気持ちを育むために

おちんちんをむかないと、どのようなことが起こるかを考えるきっかけを提供しましょう。何故むくのか。むかないと、どのようなことがおこるのか。それは自分だけの問題なのか。痛いのを我慢する意味は何か。

ここまで読んで、おちんちんの話だったら女の子は関係ないので、男女別で教えればよいと思った人がいたとしたら、大間違いです。痛さに耐え、むけるようにし、かつゴシゴシ洗い続けることは単にその男の子のためではなく、パートナーとなる女性のためでもあります。

性教育を受ける年齢の女の子は月経という、つらい、うっとうしい生理現象とむきあわなければならない女性の性についていろいろ悩んでいるでしょう。しかし、男の子も同じように、おちんちんの扱

いについて痛い、つらい思いをしているということが共有できれば、男女お互いを思いやる気持ちが目覚めるのではないのでしょうか。

◆性教育は所詮手段

繰り返しになりますが、性教育は所詮手段です。しかも、知識を伝えるだけの手段ではなく、性を通して学び、人とつながり、お互いを認め合うプロセスを育む環境整備のための手段です。性について仲間同士で話し合うきっかけづくりとして性教育を位置付けるためにも、性教育は科学的であるべきだと考えています。科学的な内容であれば、どの年齢でもその情報を伝え、その時点で理解できなくてもいろんな仲間との情報交換を通して理解を深めることができます。

本稿を書かせていただきながら、改めて子どもたちに岩室紳也の性教育を届け続けなければと気持ちを引き締めています。みなさん、一緒に頑張りましょう。

【解答】図1の呼称

- ①包茎
- ②少しむけたおちんちん
- ③むけたおちんちん

〈参考文献〉

- 1) 岩室紳也：OCHINCHIN、日本家族計画協会、1999

JASE 性教育・セクソロジーに関する資料室

資料室について

JASE 資料室は国内外の性教育、性科学等に関する文献資料を収集している開架式資料室です。文献資料の数は約5万点以上、現在も日々、増え続けています。性教育、セクソロジーに関する調査、研究のためにご利用いただけます。人間の性に関心がある方、ぜひ足をお運びください。

【閲覧】必ず事前に電話で予約が必要です (tel 03-6801-9307)。貸出業務は行っておりません。

【開室日・時間】月～金曜日 10:30～17:30

【休室日】土・日曜日、祝日、年末年始 ※この他、会議等で臨時に休室することがあります。

【コピーサービス】コピー料金は用紙サイズにかかわらず1枚10円です。著作権法の許容する範囲で行うものとします。

<http://www.jase.faje.or.jp/pub/archive.html>

資料室利用方法

収集文献・資料

統計・調査報告書、ジェンダー・フェミニズム、性教育一般・性教育の歴史的資料、国内雑誌、障害者、セクソロジー（自然科学系、人文・社会学系）、民俗学・文化人類学・風俗、性研究史・性学史、教科書・指導書・学習指導要領、幼児期～青年期、国内学術誌、国際（海外団体資料・海外学術誌）、高齢者・家族問題、文学・評論・エッセイ・文庫・新書、官公庁資料、JASE 刊行物、映像資料、個人論文、雑誌記事、新聞記事、絵本・写真集・マンガ、江幡・篠崎・朝山・石川・ダイヤモンド文庫、ほか。

<http://www3.jase.faje.or.jp/cgi-bin/search1.cgi>

性教育の歴史を尋ねる

戦後・純潔教育編

茂木輝順

第2回 私娼の拡大と「私娼の取締り並びに発生の防止及び保護対策」

もてぎ てるのり
女子栄養大学大学院栄養学
研究科保健学専攻博士後期
課程修了、博士（保健学）

「これがわが国で性教育を公式な立場から取り上げた最初のものであった」（山本信弘ほか「性教育の歴史の変遷の文献的一考察」『大阪教育大学紀要第V部門』39巻2号1991年）と指摘されているように、文部省による純潔教育施策の出発点は、1947（昭和22）年1月6日に、社会教育局長名で都道府県宛に通牒された「純潔教育の実施について」（発社1号）といわれます。この通達に至る経緯からその後の純潔教育施策の展開については、すでにいくつかの研究があり、本連載で新しい発見を提示することはほとんどありませんが、まずは、純潔教育施策が1949年発表の「純潔教育基本要項」までに進展していく過程を見ていきます。

玉音放送からわずか3日後の1945年8月18日、内務省警保局長による「外国軍駐屯地に於る慰安施設について」が各府県長官に打電され、占領軍に対する性的慰安施設等を整備することが指示されています。占領軍によって女性が強姦されるのではないかとという不安から疎開が指導された地域もあったように、慰安施設を整備する主な目的は、占領軍から女性（の純潔）を護るためであり、当時警視庁総監であった坂信弥は、成立間もない東久邇内閣の国务大臣・近衛文麿から、君が陣頭に立って指揮して日本の娘を守ってほしいという趣旨の依頼を受けたと証言しています（住本利男『占領秘録』上、毎日新聞社1952年p.52）。警視庁は接客業組合七団体の代表に慰安所設置を指示し、特殊慰安施設協会（後にR・A・A協会に改称、以下RAA）が設立されます（認可は8月28日）。RAAは占領軍の来日にあわせ、「特別女子従業員募集」「女事務員募集」といった広告を街頭や新聞等に掲載して女性を集めていきます。その過程で、戦時中からの慰安婦のみならず、父親や兄弟の戦死や空襲による家財の焼失や家族の離散といった戦争による貧困を背景に、一般の女性も次々と慰安婦となっていきました。

一方で、GHQは、1946年1月21日に日本政府向け覚書「日本における公娼の廃止」（SCAPIN642）を通達し、2月2日内務省警保局長による「公娼制度廃

止に関する件」が各府県長官宛に通牒されています。ここでいう公娼廃止とは、強制売春が禁止とされたのみで、私娼による自由意志の売春は黙認され、実態にほぼ変化はありませんでした。

ところが、RAAの慰安所は、1946年3月（開設からおおよそ7か月後）に突如閉鎖されます。性感染症の罹患率の上昇を重く見たGHQが慰安所への立入を全面的に禁止とするオフ・リミッツ令を発したためです。RAAの慰安所を解雇された慰安婦の多くは、パンパンと呼ばれる街娼になったと指摘されています。「五百人ぐらいだったがそれがまたたく間に二千人、三千人になるという有様」といわれています（前掲・住本p.70）。また、（信憑性がどの程度かわかりませんが）「当時のパンパンの大部分は、あたし同様、R・A・Aの〴〵卒業生、がしめていたと想像して、まず間違いないと思う」というRAA慰安婦経験者の談もあります（小林大治郎・村瀬明『みんなは知らない 国家売春命令』雄山閣出版1961年p.54）。

このような私娼の拡大に対し、11月14日の事務次官会議によって、「私娼の取締並びに発生の防止及び保護対策」が決定されました。これには、「公娼廃止後の風俗対策」と『闇の女』発生防止及び保護対策が盛り込まれ、後者には、「子女の教育指導によって正しい男女間の交際の指導・性道德の昂揚を図る」ために、「家庭に於ける子女の教育について積極的な関心を昂める為母親学級・両親学級・父兄会等に於て子女の問題について協議・懇談・指導する」あるいは「男女青年団等の幹部講習・幹部会等に男女の交際・結婚その他の問題について研究させる」などの措置や、「正しい文化活動を助成して青年男女の健全な思想を涵養する」ために、「映画・出版業界の自覚と責任に於て映画・出版物の品位を昂め徒らに子女の性的好奇心を刺戟するようなことのないよう関係者と懇談する」「学校・工場・青年団等の活動を促して青年男女に健全な娯楽を奨励する」などの措置を講ずることが示されています。

The Day of Silence 沈黙を強られる日とは？

アメリカに暮らして感心することはなにか新しいことをやろうとするときのその発想の豊富さ、奇抜さです。「沈黙の日」今年のポスターたとえば銃規制を訴えるデモでも、銃で亡くなった犠牲者たちのそのとき履いていた靴をずらっと並べて見せるようなことをします。沈黙がこれほどに雄弁であるデモを私は見たことがありません。最近ではフラッシュモブなどという感動的な集団パフォーマンスもアメリカ生まれ。ビジネスやマーケティングにおいてもポップアップ・ショップなどという新しい形態を考えついたのもアメリカです。

教育現場においても例外ではありません。前回紹介した「Day of Silence（沈黙の日）」というのは1996年、バージニア大学の学生マリア・パルゼッティらが始めたものです。学校で日々繰り返されているLGBTQの生徒／学生に対する揶揄や罵倒、いじめや暴力に、LGBTQであるが故になにも反論できずに黙ってしまわざるを得ないつらい状況を「学校で一日ずっと誰とも話さずに沈黙を貫く」ことで提示してみせ、学校側と友人たちにこの問題を真剣に考えてもらおうという試みでした。

翌1997年にはこれに賛同した全米100近くの大学の学生たちが参加し、2001年からは前回紹介のGLSEN（Gay, Lesbian & Straight Education Network＝ゲイとレズビアンとストレートの教育ネットワーク）が公式に後援して全米に拡大しました。参加者の学生や生徒たちは首から「沈黙の日」のプラカードを下げたり口にシールを貼付けたりして「何も話せない忍従の沈黙」のつらさを突きつけるのです。

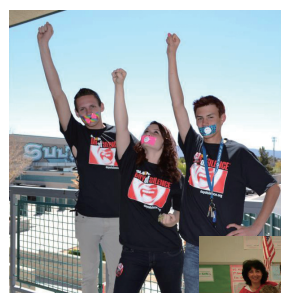
今年も4月19日に設定されたこの日に、全米で8000以上の大学・高校が一斉行動を起こしました。



それはいまフェイスブックやツイッターなどでも拡散し、「この沈黙を終わらせるためにきみは何をするのか？」という問いに、それぞれが自分の誓約を写真に撮ってアップしたりしています。ある生徒は「いじめはクールじゃないとみんなに広める」、また別の生徒は「ゲイの友だちの平等のために戦う」とも。

GLSENが2011年に全米8584校の中学校を調査したところ、前年に学校でいじめに遭ったことがあると答えたLGBTQの生徒は10人に8人にのぼりました。63.5%の生徒が自分の性的指向のために学校で危険を感じると答えています。

米国社会は何でも目に見えるところに引き出してそれを解決しようとしします。精神分析も無意識下の問題を意識上に引っ張り出してきてそれを徹底的に解明する。まずは病巣の可視化なのです。いじめや偏見や差別の問題も、徹底して表沙汰にします。それに対応するように、LGBTの子どもたちにも可視化するように呼びかけます。カムアウトを奨励するのです。もちろん現状ではリスクも伴うのですが、それはNational Coming Out Day（全米カミングアウトの日）として毎年10月11日に、励ましとともに行われています。そしていまや沈黙の日もカミングアウトの日も、米国を超えて世界中に広がっているのです。



「沈黙の日」に参加した高校生たちがフェイスブックに自分たちの写真をアップしている



きたまるゆうじ ニューヨーク在住（20年）ジャーナリスト／作家／元・中日新聞（東京新聞）ニューヨーク支局長。

「ありのままのわたしを生きる」ために



第26回

はじめての診察

土肥いつき

京都の公立高校教員。24 時間一人パレード状態の MtF トランスジェンダー。趣味の交流会運営で右往左往する日々を送っている。

4 月、怪訝な顔でわたしを見る 1 年生の横で、2・3 年生は「どひちゃん」と元気にからんでくれます。そのコントラストがなんともおもしろい季節です。

閑話休題。

2001 年 3 月のある日、職場の呑み会のために京都市内に出たわたしは、時間調整のために本屋に入りました。「なにかおもしろそうな本はないかな」と、ジェンダー関係の書棚を見ていると、『性同一性障害の基礎と臨床』（以下、『基礎と臨床』と略）という本が目にとまりました。当時、わたしはトランスジェンダーについての本を何冊かは読んでいました。しかし、すべて当事者が書いたものかルポものでした。もちろん性同一性障害についての知識はありましたが、あくまでもネットで得たもので、書籍という形で性同一性障害について述べられたものを、わたしは読んだことがありませんでした。『基礎と臨床』を手にとってパラパラとページをめくってみると、さまざまな症例や統計データが掲載されています。専門書ということもあり少々値が張ります。買おうかどうか躊躇しましたが、自分のことを知るためにはこのぐらいの出費は必要だと覚悟を決め、買うことにしました。

家に帰って『基礎と臨床』を読みました。読みながら、何度も身体がふるえる思いがしました。当事者の経験談やルポに書かれていることは、わたしにとってしょせんは「タニングト」でしかありませんでした。しかし、『基礎と臨床』に書かれていることは「知識」でした。その「知識」に照らしあわせながら自分を見つめたとき、「あてはまること」「あてはまらないこと」がクリアに見えてきた気がしたのです。一方、そのことはわたしを冷静にしていきました。自分のことをもう少し客観的に分析していきたい。そのために、誰かときちんと話をしたいと思いました。誰と話をするか…、そう考えたとき、精神科を受診しようと思いました。どこの病院にするか迷った末、「T S と T G を支える人々の会」に相談メールを送りました。すると、しばらくして返事が返ってきました。その中に「岡山

病院の中島豊爾さんは、ふところが深いお人柄なので、特に、いわゆるアウトローな患者さんにも支持されています」という一文がありました。この文章を見て、岡山県立岡山病院（当時）に行くことにしました。

4 月、わたしは岡山病院に行きました。診察室の中島さんはとても柔和な表情をしておられました。「どうしてここに来られたんですか?」「どこから話せば…」「いや、どこからでも」というやりとりのあと、同僚からゲイであることをカムアウトされたこと、彼のことをもっと知りたいと思いセクシュアリティについての勉強をしたときはじめて「トランスジェンダー」という言葉を知ったこと、まぎれもなく自分は「それ」だと感じたこと、そして子どもの頃から自分が経験してきたことや、迷いながらも診察を受けようと思ったことなどを話しました。中島さんは 1 時間近くわたしの話を聞いた後、ふと、ひとりごとのように「うーん、SRS までやるとしたら、なにが障害になるのかなあ…」とつぶやかれました。わたしは「え!」と思いました。SRS なんて、遠い世界のことだとわたしは思っていました。ところが、突然「SRS」という言葉が目の前にあらわれたのです。しかし次の瞬間、「わたしの前にはたくさんの扉がある。SRS はその向こうにある。その扉をあけるのは、わたし自身だ。中島さんはきっとその扉を開ける手助けをしてくれる」と直感しました。わたしは意を決して「わたしは性同一性障害なんですか?」と聞いてみました。すると、「1 回の診断で 100% とは言い切れませんが、おそらくそうでしょう」と言われました。最後に「来月までの『宿題』はなんですか?」とたずねると、「家族としっかりと話しあって下さい」と言われました。

病院からの帰り道、わたしは「とうとう性同一性障害になってしまった」という気持ちと「宙ぶらりんを脱出した」という気持ちの狭間の、なんとも言えない複雑な思いを感じていました。それでも岡山駅に向かう途中、記念に安物の小さなネックレスを買いました。こうしてはじめての診察が終わりました。

BOOK GUIDE

今月のブックガイド

加齢、閉経に効くエッセイ

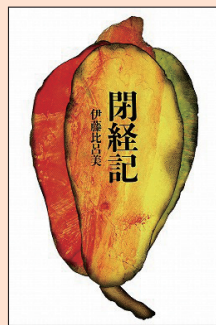
友だちの漫画研究家から「私、“性別違和”ならぬ、“年齢違和”があるの。39歳から歳とらないことに決めたから!」と高らかに宣言されたのは、何年前か。アラフォーだの、アラフィフ、美魔女等々、商業主義がにおう新語で上書きされても、加齢に対するたじろぎや抵抗、違和っていうやつは、アタマとは違う次元で、ひとを揺るがす。若く見られたいとか、もてたいとか、そもそも自分の気持ちが年齢に付いていかないとか。加齢、閉経につきまとうネガティブなもやもやを、伊藤比呂美は、スパッパッと切り裂いて、そこには青い空が見えてくる。

「漢^{おとこ}」という男性の美德を象徴する文字にあえて「おんな」というルビをふって、「漢である」という勇ましいタイトルで、『婦人公論』に連載した歯^{きぬ}に衣着せない身辺雑記。「女たち、俗にいうおばさんと呼ばれるわれわれの持っている正義感、行動力、そして人生に対する覚悟と矜持をあらわした」という。

「初冬やくそ暑いのは我ばかり」「そばに寄るだけで蒸し蒸しと夫かな」と、タイトルにした俳句だけでも、身につまされたり、笑わされたり。詩人の感性にかけると、台所でのたうっていた巨大などぶねずみの死に、母の死ぬ瞬間にそばにいらなかった無念が重ねあわされたり、ホルモン補充療法による月経の一時的再開が「真っ赤な血は、夜空いっぱいの打ち上げ花火や運動会にはためく国旗みたいに、祝祭的」だったりする。

女を武器、といっても、“セクシーでウッパン”ではなく、鬼子母神か山姥路線は、閉経前後の女の体をめぐって、ますます冴え渡る。思えば伊藤は、肯定感や居場所を手に入れるために、四苦八苦してきた。

摂食障害等の嗜癖人生から、「胎児は実はうんこである」と発見する妊娠・出産、子育て、そして離婚、



閉経記

伊藤比呂美
中央公論新社
1,470円（税込み）

ユダヤ系イギリス人との再婚、南カリフォルニアへの移住などと、怒濤の日々を送ってきた。親の介護のため熊本と往復し、看取りや親の家の片付けもした。遺書を書き、孫も生まれた。母と同じく摂食障害になったりと、思春期に翻弄させられた娘たちも独立し、犬も亡くなり、残るのはかなり年上の老いた夫のみ。

「ラブラブな夫ならば楽しいだろうが、かなしいことにそうとは言い切れない関係性をひきずっている。まあ、それでもやっていくのである」。日本語を解さず、食の好みも違い、ワーカホリックの画家だという。

満身創痍も生きた証。「あたしは何にでも溺れずにはおれない」と自覚し、経験を積み「溺れても、はいあがるすべを身につけておる。ほかのものに溺れて執着を分散させればいいのだ」と、心得た。摂食障害から、依存の対象を、より自分を害さない、むしろ自信と社会的承認の得られる、著述へとシフトしてくれたおかげで、私たちは彼女の悪戦苦闘の軌跡を共有することが可能だ。普遍的な気づきだの、熱いシスターフッドのエールも汲み取ることができる。

確執の多かった母とは、病床で「あんたがいて楽しかったよ」の一言で、呪いが解けた。「父の娘」と自認していた父子関係は、父の晩年、むしろ母以上に心を通わすのが困難になってしまった。時は移ろい、海千山千のおばさんとなった今、変化を楽しむ心の余裕も生まれている。年をとることを、しみじみと肯定する気持ちが伝染してくる。

本著を舐めるように読了して、初潮の頃から閉経の頃のことを知っておきたかったなと思う。ライフコースとしての閉経——実際の心身の変化や、その時期に直面するであろう社会的課題だの、心がまえがあったら、その後の人生はずいぶん違うのではないか。読者が同世代の女たちだけでは、もったいない。若い世代にも、老いからは逃れられない男たちにも、読んでほしい。（フリーライター まつばら けい）

6/2 (日)

10:30~16:20

平成 25 年度 第11回思春期保健相談士 学術研究大会

【内 容】

基調講演「働くことと子育て」辰巳渚 ((社) 家事塾)、特別講演、一般学術演題報告、ほか。

【会 場】 マツダ八重洲通ビル (9階マツダホール)
(東京都中央区八丁堀1-10-7)

【主催・問い合わせ先等】 主 催／(社) 日本家族計画協会。
参加費／10,500 円 (税込み)、演題発表者は 7,350 円 (税込み)。
定 員／200 名。
受講資格／思春期保健相談士 (上級含む)、保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教諭、教職員等 (その他の職種の方の参加希望者は、要事前問い合わせ)。
問合せ先／(社) 日本家族計画協会 研修課
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
TEL 03-3269-4785 FAX 03-3267-2658

6/16 (日)

13:30~16:50

体験型講座 ホワイトハンズ大学@仙台 「障がい者の性」白熱教室！ ～性護のケーススタディを通して～

【内 容】

性護基礎講義、ワークショップ「障がい者の性」白熱教室！ケーススタディ①「障がい者の恋愛・セックス問題」、②「介護現場でのセクハラ問題」、③「知的・発達障がい児者への自慰指導、性的迷惑行為の防止問題」、④「障がい者及び患者 (がん・脳卒中・神経難病) の性生活問題」、⑤「障がい者の家庭内での性的虐待問題」、⑥「『夜の世界』における、女性障がい者の問題」。

【会 場】 仙台市青葉カルチャーセンター 4階 404 号室
(宮城県仙台市青葉区一番町2-3-10 カルチャー仙台ビル)

【主催・問い合わせ先等】

参加費／初回の方 6,000 円 (税・テキスト代・送料込み)、2回目以降の方 3,000 円 (税込み・事前配付テキストなし)、学生 3,000 円 (税込み・事前配付テキストなし)、ホワイトハンズ会員は無料。
定 員／20 名。問合せ先／一般社団法人ホワイトハンズ
ホームページのフォームより申し込み。
URL <http://www.privatecare.jp/20130616.html>

6/22 (土)

9:00~17:30

日本「性ところ」 関連問題学会 第5回学術研究大会

【テーマ】 「アディクションとセクシュアリティ」

【内 容】 講演 「アディクションとセクシュアリティ」
松下年子 (横浜国立大学)、「おたくのセクシュアリティ」
齊藤環 (佐々木病院)、「自傷する女たち——現代社会における女の生きづらさ」上野千鶴子 (ウィメンズアクションネットワーク)、シンポジウム、ほか。

【会 場】 ホテルメトロポリタン
(東京都豊島区西池袋1-6-1)

【主催・問い合わせ先等】

主 催／日本「性ところ」関連問題学会。
参加費／一般: 事前 5,000 円、当日 6,000 円。学生: 事前 2,000 円、当日 3,000 円。
問合せ先／〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-2-5
医療法人榎本クリニック 日本「性ところ」関連問題学会
第5回学術研究大会事務局 (担当: 山崎・中嶋)
TEL 03-3982-5345 FAX 03-3982-6089
E-mail sei-kokoro1@enomoto-clinic.jp

▶▶ 6月22日 (土) 13:00~16:50 ◀◀

第1回 熊本県性教育研究会 ともに拓く LGBTIQ の会くまもと合同セミナー 「性的マイノリティの子どもたちにとって居心地のいい 学校環境を考える」

内 容 基礎講座「LGBTIQ を正しく理解するために」大橋勇一 (熊本県性教育研究会)、スピーチ及びディスカッション①「米国、日本、そして世界の LGBT 人権向上」ダニエル・C・キャラハン (在福岡米国領事館政治・経済担当領事)、②「教育現場におけるジェンダー二元論～GIDである僕が感じたこと～」池袋真 (GID当事者)、ほか。

会 場 熊本大学医学部保健学科 E 棟 5階 506 講義室
(熊本市中央区九品寺4-24-1)

主催・問い合わせ等

参加費／一般 1,500 円 (資料代)、会員・学生無料。
主 催／熊本県性教育研究会。
共 催／ともに拓く LGBTIQ の会くまもと。
問合せ先／ともに拓く LGBTIQ の会くまもと事務局 (担当: 高瀬)
TEL 080-5606-3525 E-mail hirakukai@i.softbank.jp
氏名・所属・メールアドレス等の連絡先を添えてお申し込み下さい。

全国性教育研究団体連絡協議会

▶▶ 8月8日(木) 12:30～16:30
8月9日(金) 9:00～16:30 ◀◀

第43回 全国性教育研究大会 第21回 近畿・北陸・東海地区性教育研究大会

テーマ 『主体的にいきることから 生き方を考える』
～いのちをはぐくみ 人との絆を築くために～

内 容

- 1日目**：13:00～13:30 **開会行事** 挨拶・祝辞・次期開催地紹介
13:35～14:05 **開催地報告** 「奈良県性教育研究会の実践」奈良県性教育研究会
14:10～14:50 **基調講演** 「学校における性に関する指導について」城戸 茂（文部科学省国立教育政策研究所特別活動調査官）
15:00～16:30 **記念講演** 「万葉びとの生と性」上野 誠（奈良大学教授）
- 2日目**：9:30～12:00 **分科会** 「小学校における性教育の実践」「中学校における性教育の実践」「高等学校における性教育の実践」「青少年の性教育の実践」「性とメディアリテラシー」
13:30～15:00 **課題別講義** 「トランスジェンダー生徒交流会からの発信」土肥いつき（京都府立高等学校教員）、「女性専用外来から見た性の課題と対応について」島本郁子（奈良県立医科大学附属病院臨床教授）、「ライフスキル形成を基礎とする性教育の理論と実践」川畑徹朗（神戸大学大学院教授）、「学校の教育活動全体を通して行う性教育」堀内比佐子（全国性教育研究団体連絡協議会監事）
13:30～15:00 **参加型講義** 「医療職サイドとして、性と生を考える」中谷里子（奈良県助産師会ハートポケット助産師）
15:10～16:40 **報告** 「青少年の避妊に関する意識と行動の変化（第7回『青少年の性行動全国調査』より）」土田陽子（大阪府立大学 非常勤講師）
15:10～16:40 **実践発表** 「特別支援教育の視点で行う通常学級における性教育」「中学校における実践『異性の友人との関わり』」「高校生に対する子宮頸がんの予防教育の実践」

会場 奈良 公立学校共済組合「春日野荘」（奈良市法蓮町 757-2）

定員・参加費・問い合わせ

参加費／一般 6,000 円、学生 4,000 円、1 日参加：一般 3,000 円、学生 2,000 円。定員／300 名。
主 催／全国性教育研究団体連絡協議会、近畿・北陸・東海地区性教育研究団体連絡協議会、奈良県性教育研究会。
協 賛／日本性教育協会。後 援／内閣府、文部科学省、厚生労働省ほか。
申込み・連絡先／〒634-0007 奈良県橿原市葛本町 625 橿原市立耳成小学校 養護教諭・大杉 好
TEL 0744-22-2265 FAX 0744-22-9642
締 切／平成 25 年 7 月 3 日